



そろう～リズムがそろうチームに敵はいない～

授業、部活動が本格的に始動し、学校が活気づいてきました。日々の授業や部活動を通して、周囲の仲間たちとの関係性を高め、互いに励まし合い、支え合いながら社会でたくましく生き抜く力を身につけてほしいと願っています。

さて、春季大会を今週末にひかえ、チームの状態はどうか。大会に臨む意識、姿勢、態度は全員そろっているでしょうか。下記の文は恩師から教えていただいたチーム育成論です。今後の部活、学級、学年、学校のチーム力向上に活用できると思います。全校生徒の意識がそろうと最強の大内中学校になりますね。

そろう～リズムがそろうチームには敵はいない～

①レベル1「服装や身なりがそろう」

どんなチームでも、ユニフォームを着ると、とたんに強いチームに見えるようになります。それは全員の服装がそろうからです。大事なのは普段の練習で、どれだけ服装や身なりがそろうかです。

②レベル2「行動がそろう」

1つ目は、ランニングの足・かけ声。集合のときの集まり方、集まった後の並び方、立ち方、手の位置、目線、返事の仕方、あいさつ。さらには、練習がそろっているかです。きびきびした動き、声、スピードなどにもこだわりがなければいけません。

2つ目は、スリッパや脱いだ靴をそろえる。かかとをそろえる。いすや机をそろえるなどです。大会で、履き物を乱雑に脱いでいるチームがありますが、このチームは絶対に勝てません。自分のチームはどうでしょう？

③レベル3「意識がそろう」

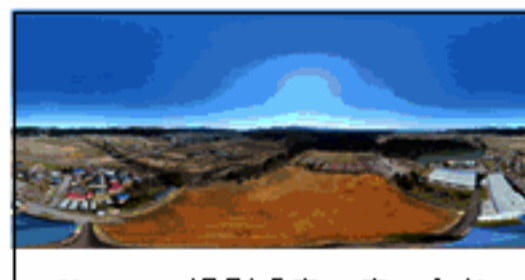
思いや感じ方、考え方がそろうレベルです。意識がそろうとは、同じことを思い、同じように感じ、そして、同じように考えられる心をもてる状態です。そのために、日々のミーティング（部報や部日誌）があります。

④レベル4「リズムがそろう」

一番高いレベルは「リズム（雰囲気）がそろう」ことです。これは、意識がそろったことによって、自然と表れる最高の状態です。「夢」がかなうチームは、必ずこのレベル4の状態になります。チームはもちろん、それを取り囲む環境や保護者にいたるまで、もろもろのことが全てそろうことが、「そろっているリズム」をかもしだすのかもしれない。リズムがかもし出されるまでにいたったチームに、敵はいません。最大の敵、自分自身の中にひそむ「内なる敵」も、「リズムがそろう」という安心感にはかなわないのです。



ドローン撮影「春の章」より



ドローン撮影「春の章」より

【春季大会に向けて】

- ・部員同士のコミュニケーションがこれまで以上に活発になり、いい練習ができているんじゃないかと思えます。モチベーションをみんなであげてがんばりたいです。(〇〇さん)
- ・春季大会ができることに感謝し、全力でプレーして頑張りたいです。(〇〇さん)
- ・キャプテンとしてしっかりチームを引っ張っていきたい。優勝目指します。(〇〇さん)
- ・今日は野球が終わってから家に帰ってバットを30回ふりました。(〇〇さん)
- ・優勝を目指します。そのために、場面場面ですれればよいかを考えてプレーしたいです。(〇〇さん)

新任式・始業式、入学式、1期ガイダンス、部活動説明会、授業開始、ドローン撮影「春の章」をホームページ「写真集」にアップしました。ぜひ、ご覧ください。